

春の叙勲・褒章

政府は、4月11日付で「第24回危険業務従事者叙勲」受章者を、4月28日付で「平成27年春の褒章」受章者を、4月29日付で「平成27年春の叙勲」受章者をそれぞれ発表しました。

叙勲と褒章は、長年にわたりさまざまな分野で社会に貢献された人に贈られるものです。市内では次の皆さんが受章されました



旭日単光章
【環境衛生功労】
中道 法子 さん
(柳原町・70歳)

平成5年、栃北日本環境保全の社長就任と同時に(一社)岩手県産業廃棄物協会の副会長に就任して以来、時代と共に廃棄物関連の規制が厳しくなる中、同業者と事業活動をしやすくなるよう情報共有の場の確保などに努めました。受章について「従業員など周りの人に恵まれていたから続けてこられました」と感謝の気持ちを話していました。



瑞宝小綬章
【教育功労】
こだしま 小田島 順造 さん
(二子町・71歳)

昭和43年に教職に就いて以来、教育の現場で「人づくり」に携わってきました。独自性・自主性のある花巻東高校の教育改革を推進し、県内の私学協会長などを務めています。生徒の才能を見つけ、それを伸ばすことが仕事と言い、目標を持つ生徒が増えたことを喜びます。受章について「今後も更に使命を果たさなければという気持ちです」と話していました。



瑞宝双光章
【地方自治功労】
及川 義也 さん
(鬼柳町・70歳)

昭和43年から北上市役所に勤務し助役、副市長を歴任し45年近く地方自治に携わりました。公民館主事兼出張所長として勤務した経験から「住民自治の基本は地域にある」として地域計画策定を導入しました。受章について「大変光栄なことです。歴代の市長や先輩、同僚、市民の皆さんのおかげです」と喜びを話していました。



瑞宝単光章
【統計調査功労】
すけゆき 阿部 祐之 さん
(口内町・89歳)

昭和35年10月に第9回国勢調査員として任命されて以来平成17年の国勢調査まで45年間調査員を務めました。留守がちな世帯にも何度も足を運び、丁寧な説明や指導を行いながら調査を推進しました。受章について「まさかという気持ちです。周りの人が調査に協力してくれたお陰です。感謝しています」と話していました。



瑞宝単光章
【消防功労】
すけゆき 池田 祐幸 さん
(和賀町後藤・78歳)

昭和35年から33年間にわたり消防団員として防災・防火活動に励みました。記憶に残る消火活動は花巻市境で起きた住宅火災。水源が確保できず消火が危ぶまれましたが花巻市側から水を引くことができ、翌朝までかかって延焼を抑えることができました。受章について「夢みたいですね。みんなのおかげで続けてこれた。ありがたいです」と話していました。

晴れの受章おめでとうございます



瑞宝単光章
【警察功勞】
ただしげ
高橋 忠成 さん
(本通り・80歳)

昭和28年から警察庁技官として青森県や宮城県、岩手県警察で無線など通信関係の業務に携わりました。昭和45年の岩手国体に昭和天皇が来県された際、警察車両の無線保守のため天皇に付いて県内を回ったことが印象に残ると語り、受章について「うれしい。同僚や家族のおかげです」と感謝の気持ちを話していました。



緑綬褒章
【社会奉仕活動功績】
桑原 文子 さん
(里分・81歳)

昭和47年に北上市食生活改善推進員に就いて以来一貫して「自分たちの健康は自分の手で」を理念に家庭での健康づくり活動を進めてきました。活動内容は時代によって変わると言い、最近はお・中・小での食育指導や男性向けの料理教室などを行っています。受章について「活動に協力してくれた会員のおかげです。皆さんに感謝したい」と話していました。

危険業務従事者叙勲



瑞宝双光章
【消防功勞】
梅木 努 さん
(上野町・67歳)

昭和42年から北上消防署に勤務し42年間にわたり、地域の安全・安心のため消防防災業務に尽力しました。記憶に残るのは黒沢尻西小学校の火災。「初めての大型火災で火の怖さを身をもって感じた出来事。指示を受けて動くのがやっとだった」と振り返ります。受章について「先輩と一緒に働いた同僚のおかげです」と感謝の気持ちを話していました。



瑞宝双光章
【消防功勞】
齊藤 昭平 さん
(更木・66歳)

昭和42年から北上消防署に勤務し42年間にわたり、地域の安全・安心のため消防防災業務に尽力しました。和賀中部分署に勤務した時の住宅火災で、逃げ遅れた姉を呼ぶ弟の声が忘れられないと振り返ります。受章について「先輩や上司に教えてもらい大過なく勤めることができましたからだと思う。家族の協力にも感謝しています」と話していました。

百歳 これからもお元気で

市は、4月に満百歳を迎えた2人に祝い状と記念品を贈り、長寿を祝いました。

浅野ミヲさん(立花)は大

正4年4月16日生まれ。20代で故與七さんと結婚し、子2人、孫5人、ひ孫10人、やしゃご2人に恵まれています。夫の戦死後は着物の縫製やたばこ店を営むなどして子どもを育て上げました。甘い物とにぎやかな所が好きでミヲさん。当日は君が代を披露し「花束を頂き祝ってもらってうれしい。長生きの秘訣は好き嫌いなくいっぱい食べる」と話していました。



花束を手にするミヲさん(中央)



祝い状を手にするセンさん(中央)

加藤センさん(柳原町)は大正4年4月27日生まれ。20歳で故三郎さんと結婚し、子4人、孫10人、ひ孫6人に恵まれています。頑固で几帳面なセンさんは、得意な料理でお客さんをもてなすことが好きだそうです。90歳頃まで趣味の編み物を毎日楽しみ、現在はテレビでバレーボールやサッカー、相撲などの観戦を楽しんでいます。「ここまで長生きするとは思わなかった」と話していました。